

令和8年度 内子高等学校 シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	3単位	学 年	2学年
教科書	新編 数学Ⅱ（数研出版）	副教材等	Study-Up ノート数学Ⅱ（数研出版）				

1 学習の目標

いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解することができる。基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を養う。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線	- 式の計算の方法を多面的に考察します。 - 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことを証明します。 - 数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解きます。 - 剰余の定理や因数分解を利用して高次方程式を解きます。 - 直線の性質や関係を数学的に表現することで、その有用性を認識し、事象の考察に活用します。	中間テスト 期末テスト
第2学期	第2節 円 第3節 軌跡と領域 第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数	- 円の性質や関係を数学的に表現することで、その有用性を認識し、事象の考察に活用します。 - 不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解し、それらを事象の考察に活用します。 - 指数と対数を相互に関連付けて考察します。 - 指数関数及び対数関数の式とグラフの関係を多面的に考察します。 - 関数とその導関数との関係について考察します。	中間テスト 期末テスト
第3学期	第2節 関数の値の変化 第3節 積分法 第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理	- 導関数の理解を深めるとともに、導関数の有用性を認識します。 - 定積分について理解し、直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察します。 - 角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する性質や式とグラフの関係について多面的に考察します。 - 加法定理を理解し、事象の考察に活用します。	期末テスト

3 評価の規準

【知識・技能】

いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養っている。

【主体的に学習に取り組む態度】

数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養っている。

4 評価方法

学期ごとに、評価の規準の3つの観点から、学習活動への取組、定期テスト、単元テスト、小テスト、課題提出などで評価します。

5 学習のアドバイス

予習・復習を確実に行いましょう。授業中に理解できなかったところは、その日のうちに授業担当教員に質問するなどして理解に努め、日々の学習内容を確実に理解しましょう。演習で解けなかった問題については、答えを見て解けるようになった後でも、同じ問題を何度も解いて内容を定着させるようにしましょう。答えなどを見ずに、自力で

解答できるようになった段階で初めて「できるようになった」と言えます。